

お客様の声

新築をされたS様

焼津市のS様、ご夫婦とお子様1人の3人家族のお宅です。

“そろそろ二人目が欲しいね。と主人と話しながら将来を考えて、まず「家が欲しい！」と思いました。消費税が上がる前、子供が幼稚園に入園するタイミングを考えて住宅展示場を見に行きました。あくまでも相談のつもりが、最初に言われた金額からどんどん上がっていき契約寸前のような話になってしまい強引なやり方に不信感を持ち、主人の友人でもあった陽平君に連絡しました。ちょうど、完成したばかりの家を見せてもらい、まず感じたのが自分と好みがあっているなあとということでした。そこで、見積りを頼んだところ、こちらの予算にあわせるように色々考えてくれたうえ、補助金の事も教えてもらいました。この補助金のおかげでその分グレードアップしたキッチンにすることが出来て本当に感謝しています。間取りの方も、ひとつだけ「リビングの横に小上りの畳コーナーがほしい。」という希望だけはお伝えして、あとはおまかせしました。すると、住宅密集地の日当たりの良くない土地に合わせて1階に寝室、2階にリビング、リビングの横にはウッドデッキ、脱衣室からそのままウッドデッキに出て洗濯物が干せる。家事動線まで考慮した間取りに、男性なのによくわかってるな・・・とびっくりしました。寝室の間接照明も雰囲気良く、夜も真っ暗にならず気に入ってます。住み始めて2か月経ちますが、酷暑にもかかわらず、外から帰ってくると「あっエアコン消し忘れた！」と感じるほど家の中が涼しいことに驚きます。断熱効果の話は聞いていましたがこんなに違うんだと思うと、シュミレーションで出た、冬場無暖房でも12度というのがとても楽しみになっています。”



S様 ありがとうございます。



メッセージ



ただいまこんな仕事をしています

9月



和風平屋住宅新築工事
2世帯住宅新築工事
床貼り替え工事
和風住宅改装工事

藤枝市
藤枝市
藤枝市
藤枝市



10月

外壁塗装工事
制震ダンパー取付工事

藤枝市
藤枝市

11月



外壁塗装工事
制震ダンパー取付工事

藤枝市
焼津市



地域の人に、地域の技で、地域の家を。

株式会社 ヤマタケ建設

藤枝市益津下59-4 TEL 054-641-1216

ヤマタケ建設

検索

ブログ随時更新中！HPもぜひご覧ください

避難グッズを確認しましょう！

毎年この時期になると、防災訓練を行う地区が多いと思います。静岡にいと、この防災訓練が当たり前のようになっていますが、防災訓練をやったことのない県もあるようで、以前、通勤族の方がびっくりされていました。年に1~2回の防災訓練にあわせて、自宅の避難グッズの確認もしましょう。期限切れになってしまった水・食糧を新しい物に交換しましょう。まだ、用意していない方はどんなものを用意すればいいかをチェック表をつくれたので、参考にしてみてください。

- 飲料水(一人一日3リットルが目安)
- 非常食(保管期間が長く火を通さなくても食べられる食品)
- 医薬品(消毒薬・三角巾・胃薬・解熱薬など)
- 簡易食器セット(家族分)
- 衣類(防寒具)
- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- 電池
- 現金(10円玉も)
- ろうそく・マッチ・ライター
- タオル(大・小)
- ウェットティッシュ
- ビニール袋
- 雨具
- 洗面道具(旅行用で可)



ブロック塀補助金

各市町村で、古いブロック塀を撤去するにあたり、補助金の交付をしています。改修補助金は、条件が多く適用外になってしまうケースも多いのですが、ブロック塀を全て撤去の場合は、ほとんどの人が対象になります。



自宅のブロック塀が古くて、地震がきたら壊れてケガをさせてしまうかもしれないという心配のある方は、この機会に撤去されるのもいいかもしれません。

※撤去前に申請しないと、補助金はもらえませんので先に必ずお問い合わせください。

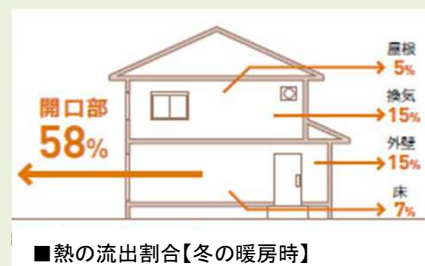
内窓サッシの断熱

夏、エアコンの効き方が悪かったり、冬場に窓ガラスの近くが寒いのはガラス部分から熱が逃げるからです。内窓サッシは断熱性を高めるために、今ついているサッシの内側にもう一枚サッシをつけます。現在のサッシはそのまま使用するので、工事期間はわずか一日です。寒くなる冬が来る前にどうでしょうか？興味のある方はお問い合わせください。

家の中で熱の出入りがもつとも大きいのが「窓」

窓の耐熱性を高めることが、住まい全体の耐熱性能を高める重要ポイントです。

■寒さの原因はコールドドラフト現象



窓辺で冷やされた空気は、冷たい風となって室内の下層に流れ込みます。(コールドドラフト現象)。これにより実際の室温よりも体感温度が低くなってしまいます。(いわゆる底冷え)



火災報知器の電池大丈夫ですか？

住宅用火災報知器設置が義務化されて10年がたちました。

電池式火災警報器の耐用年数がちょうど10年です。電池交換の可能なタイプもありますが、中には交換できない物もあります。せっかくなついても、いざという時に切れていたら何なりません！

多くの火災警報器は、電池切れの前に警報音が鳴ります。夜中に鳴ってしまう場合もあるので、**今一度、ご自宅の火災報知器の設置時期をご確認ください。**

